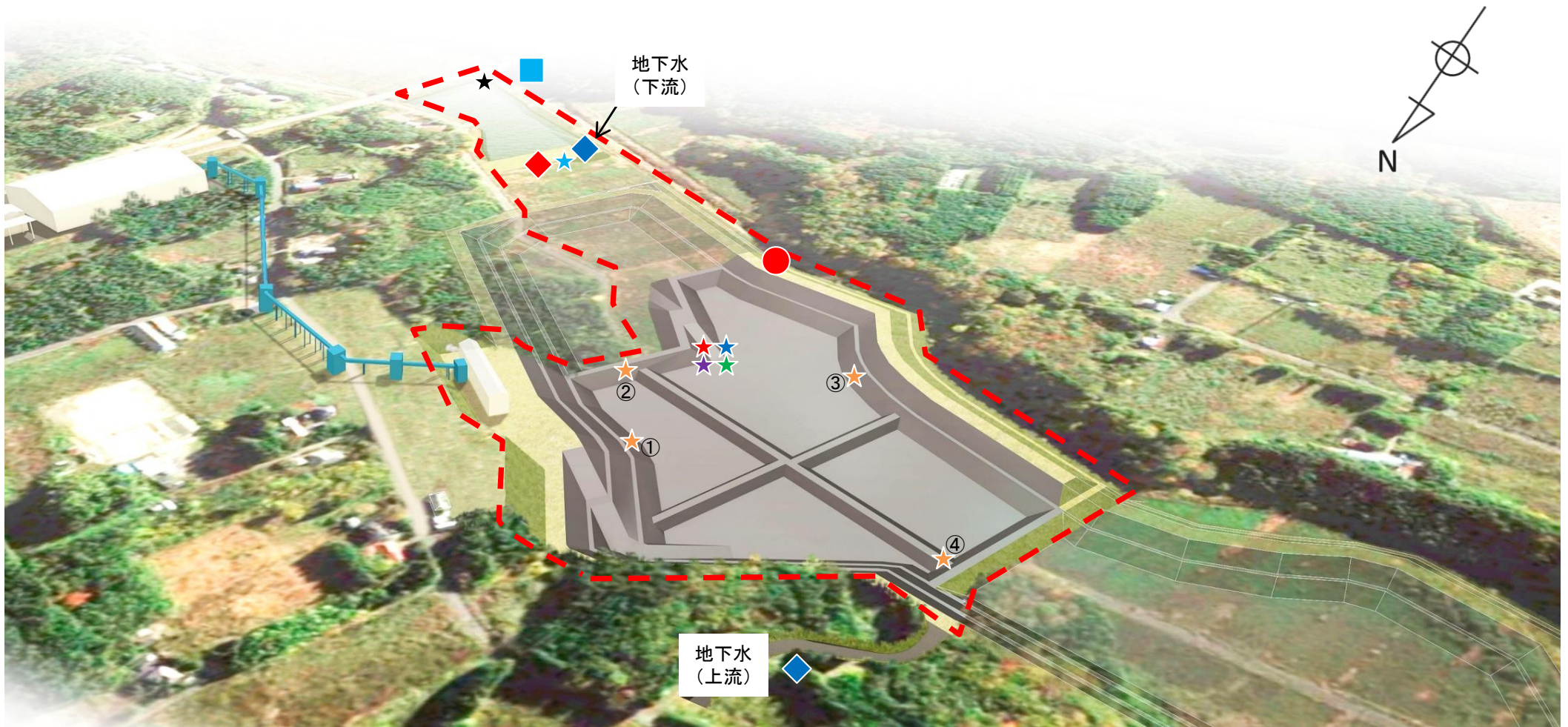


土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例

- | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質 | ■ : 放流先河川の放射能濃度 | ★ : 粉じん濃度 |
| ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁) |
| ★ : 表面汚染密度(設備) | ★ : 表面汚染密度(重機) | --- : 敷地境界線 |

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18 (稼働前)		15	7.9
	2019/3/7 (稼働後)		12	12
下流	2018/9/25 (稼働前)		90	130
	2019/3/7 (稼働後)		81	160

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 (稼働前)		ND
2019/3/13 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2019/3/7		6.7	1.4	7.5

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2019/3/12 ~2019/3/30	138	0.0	5.0	ND	3479.6

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18 (稼働前)		ND	1.2
2019/3/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.65

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/3/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	脱水分ラント	ND
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/2/7	(稼働後)	12	10
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/2/7	(稼働後)	89	170

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/2/21	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/2/7		7.4	0.7	4.8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
		2018/9/18	(稼働前)
2019/2/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.67

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/7 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽
	濁水処理設備	ND
	脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー
		バックホウ
		タイヤローラー
		振動ローラー

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/1/10	(稼働後)	12	9.7
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/1/10	(稼働後)	83	140

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/1/24	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/1/10		7.8	ND	4

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
		2018/9/18	(稼働前)
2019/1/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/1/10 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.3

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/10 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.60

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/10 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/1/10 (稼働後)	
貯蔵施設境界	①北	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2018/12/5	(稼働後)	12	8.7
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2018/12/5	(稼働後)	87	170

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2018/12/19	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/12/18		7.3	ND	3

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2018/12/17 ~2018/12/26	38	0.2	1.4	ND	942.4

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2018/12/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2018/12/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.55

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/12/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値：1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2018/11/1	(稼働後)	13	8.0
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2018/11/1	(稼働後)	95	170

◆地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2018/11/19	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2018/11/1	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/11/1
	(稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.3

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/1
	(稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.41

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/1
	(稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/11/1	
		(稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18 (稼働前)		15	7.9
	2018/10/5 (稼働後)		16	7.2
下流	2018/9/25 (稼働前)		90	130
	2018/10/5 (稼働後)		130	97

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 (稼働前)		ND
2018/10/19 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2018/9/18 (稼働前)		ND	1.2
2018/10/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2018/10/5 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.9

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/5 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.62

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/5 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/10/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽
		濁水処理設備
		脱水プラント
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー
		バックホウ
		タイヤローラー
		振動ローラー

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²